



NEWS LETTER

第2号(R1.7.22)

新任教員からのごあいさつ

○富永 吉喜 先生

4月からセンターに赴任しました。京都府立高校の国語科教員、教育行政、管理職として教員生活を送り、定年退職後この3月まで長期離職者の就労支援団体の理事長を務めておりました。

本学では、本センターと連合教職実践研究科との併任で、授業等を通じ現場の実践と大学知を橋渡しする仕事を担当します。

学部や大学院に学ぶ学生には、現場に必要な資質能力は何なのかを伝えられるよう、そして学校現場の先生方には大学の研究成果を伝えられるよう、現場と本学との触媒として貢献したいと思っております。少しでもお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。

○中垣 ますみ 先生

4月から教職キャリア高度化センターに着任しました中垣ますみです。3月までは京都府北部の中学校に勤務していました。

京都教育大学は、京都府北部地域にある学校や先生方への支援に力を入れているところであり、その取組の役に立てるように努めていきたいと思っています。

また、大学では授業の手法を学ぶ基礎演習や理科教育の授業を担当します。将来教職に就こうとしている学生に、子どもたちの可能性や学校という教育の現場の魅力も伝えていければと思います。よろしくお願いいたします。

オランダ・マルニクスアカデミー大学からの訪問者受け入れ報告

5月20日（月）から24日（金）にかけて、オランダの初等教育教員養成大学であるマルニクスアカデミー大学からの訪問団（引率教員2人、学生17人（大学2年生））を受け入れました。オランダは教育先進国といわれ、「世界で最も幸福な国」ともいわれています。2016年2月から交流がはじまり、2018年4月に初回の訪問団を受け入れています。教育創生リージョナルセンター機構、6年制教員養成高度化コース、理科教育研究室が中心となり、また、理学科、英文学科等から約20人の学生にも協力してもらい、京都市内の学校訪問、授業参加、オランダ教員による授業（コーチング）、ミニシンポジウム（両国の教員養成）、文化交流を行いました。

今回はオランダの教員・学生が見た日本の教育を、彼ら視点から語ってもらう機会を多く持つことができました。私たち教員も学生も驚いたのは、本学学生の印象として、「教育に向かう気持ちにあふれ、そのスキルも非常に高い」という意見でした。「いやいや、驚いてはいけない、私たちの自己肯定感が単に低いだけなのだ」という気持ちと、「もっと自信を持とう」という気持ちを新たにした来訪でした。



幼児教育専攻学生によるboard decoの紹介

センター機構棟入ってすぐにあるボードに掲示している、幼児教育専攻学生が作成した四季折々の作品を、作成した学生からのコメントとともにご紹介します。



今月の作品は、七夕をテーマにしたものです。織姫と彦星が一年ぶりの再会を喜び、その周りでは可愛い動物たちが七夕の星空で遊んでいる様子を描きました。動物が流れ星に乗っているところを表現するのが難しかったですが、季節感を感じられるように意識して飾りつけたので、たくさんの方に見て頂ければ幸いです。（田中文梨さん、谷知咲さん、寺崎和香さん）

大学訪問の受入について

5月から7月にかけての3ヶ月間で、8校165名の中学生が本学を訪れ、延べ30名の学生にボランティアとして関わっていただきました。中学生の学校案内を経験することで、実習とは違った中学生の実態にふれることができ、学生たちは、「中学生と接する経験ができてよかった。」「中学生がとても素直だった。」というプラスの感想を持って帰っています。大学訪問をしてくれた中学生たちに、京都教育大学の素晴らしさを伝え、将来「京都教育大学に入学したい。」という生徒が増えることを願っています。

5/17(金)	大山崎町立大山崎中学校 中学2年生:30名 学生ボランティア:4名	
目的	「総合的な学習の時間」に大学を訪問し、進路学習を深める。	
内容	大学概要説明、学内見学、授業参観、学食での昼食	
6/4(火)	八幡市立男山第三中学校 中学3年生:30名 学生ボランティア:6名	
目的	大学訪問の体験を通して主体的に進路を選択する力を養う。希望進路実現への広い視野を持つ。	
内容	学食での昼食、大学概要説明、学内見学、本学学生との懇談	
6/6(木)	久御山町立久御山中学校 中学3年生:18名 学生ボランティア:3名	
目的	進路学習として興味・関心のある大学について調べ、進路選択に役立つ情報を集め、進路を考える機会とする。	
内容	大学概要説明、本学学生との懇談、学内見学、学食での昼食	
6/6(木)	宇治田原町立維考館中学校 中学2年生:12名 学生ボランティア:2名	
目的	大学を訪問することで、大学の特色や内容を知ることにより、自らの力で進路を考え、切り拓く力を養う。	
内容	大学概要説明、本学学生との懇談、学食での昼食、学内見学	
6/7(金)	宇治黄檗学園 宇治市立黄檗中学校 9年生:36名 学生ボランティア:6名	
目的	進路指導の一環	
内容	大学概要説明、本学学生との懇談、学内見学	
6/13(木)	木津川市立木津第二中学校 中学3年生:25名 学生ボランティア:5名	
目的	キャリア教育の一環として、大学訪問を通して自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自らの意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を身につける。	
内容	大学概要説明、本学学生との懇談、学内見学(附属図書館等)、学食での昼食、学内見学(大講義室等)	
6/14(金)	京都市立桃陽総合支援学校 中学部3年生:9名 学生ボランティア:3名	
目的	「総合的な学習」の時間における「キャリア教育」として生徒が自ら生き方を探求する力を身につける。大学訪問を通して自らの進路について主体的に考え、進路希望実現に向けて積極的に取り組む契機とする。	
内容	大学概要説明、本学学生との懇談、学内見学	
7/5(金)	京都市立九条中学校 中学3年生:5名 学生ボランティア:1名	
目的	キャリア教育の一環として、大学訪問により自己の生き方や進路を考える機会とする。	
内容	大学概要説明、学内見学(附属図書館等)、本学学生との懇談、学食での昼食	

所属教員

センター長	植山 俊宏
センター次長	関口 久志
	高柳 眞人
専任教員	樋口 とみ子
	西井 薫
	飛田 祥
	岡田 敏之
	初田 幸隆
	富永 吉喜
	中垣 ますみ
兼任教員	村上 忠幸
	小山 宏之

連絡先

ボランティアオフィス 075-644-8336
 (月~水・金 10:30~13:30、木 10:30~14:30)
 スポーツ指導者養成オフィス 075-644-8143
 (月~金 10:00~13:00、14:00~15:00)
 事務担当 075-644-8276/8117
 (研究協力・附属学校支援課
 研究協力・センター機構支援グループ)

